

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 377 (通算 708 回)

2018 年 12 月 14 日 (金)

多様な大学と多彩な高校生との“出会い”——

## 高大接続・大学入試の新パラダイムを拓く

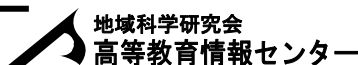
～ AP の明確化／選抜方式 (一般・推薦・AO 等) の再設計 ～

- ※ 高大接続改革の背景を読み解く／個別大学入試 ～AP と適切性／次世代共通テストのあり方
- ※ 高校からの要望と期待／電子調査書、e-ポートフォリオ導入の意義／新学習指導要領との連携
- ※ 接続ツールとしての JAPAN e-Portfolio ～高校にとって、大学入試にとって／19 年度以降の展開
- ※ 高大接続と大学入試改革の問題点／大学側の対応／英語民間試験・国語記述式問題～経緯と功罪

### ● 講師陣 ●

- 大塚 雄作 氏 / (独) 大学入試センター 客員教授 前 副所長 試験・研究統括官  
 長塚 篤夫 氏 / 順天中学校・高等学校 校長 日本私立中学高等学校連合会 常任理事  
 尾木 義久 氏 / 関西学院大学 高大接続センター 次長 アドミッションオフィサー  
 石井 洋二郎 氏 / (国) 東京大学 理事・副学長

2018 年 12 月 14 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日時: 2018 年 12 月 14 日 (金) 10:00 ~ 16:50

会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」、A1 出口より徒歩 3 分

※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (税込)

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※ 参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 377

## 高大接続・大学入試の新パラダイムを拓く

(□ に ✓ 印を)

当日参加

メディア参加

支払方法  郵便振替

当日払い

銀行振込

必要書類  請求書

見積書

領収書

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

(書類宛名 \_\_\_\_\_)

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※ この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:30	<p>□ 高大接続・大学入試改革の背景と課題 ～ 大学個別入試と共通試験に求められるもの～ (独) 大学入試センター 大塚 雄作</p> <p>1. 高大接続改革の背景を読み解く (1) 想定し得ない事態に対処する力と学力の3要素 (2) グローバル化と外国語習得のあり方 (3) 情報化と Society5.0 への移行 (4) ユニバーサル化と学生の多様化</p> <p>2. 個別大学入試に求められる多面的・総合的評価 (1) アドミッションポリシー策定の義務化 (2) アドミッションポリシーと入試の適切性 (3) 原則「いちばん大切なことは評価してはならない」との関係 (4) 学習コミュニティをどう構成するのかという発想</p> <p>3. 次世代の共通テストのあり方 (1) 学習指導要領とどう対応させるのか (2) 受験生の多様化をどう克服すべきか (3) 入試メディアの変化にどう対応するか (4) 公正性へのさらなるチャレンジ (質疑応答)</p>
11:40 ～ 13:00	<p>□ 高大接続・大学入試改革 ～ 高校からの要望と期待 ～ 高校の生徒評価／新調査書・ポートフォリオの活用～ 順天中学校・高等学校 長塚 篤夫</p> <p>1. 多面的・総合的評価が求められる背景 (1) 変わりゆく社会と教育 (2) 高校教育の共通性と多様性</p> <p>2. 電子調査書、e-Portfolio 導入の意義と課題 (1) 調査書の改善と電子化について (2) ePf の高校での活用について</p> <p>3. 新学習指導要領が求める資質・能力の評価 (1) 教育・学習観の転換が始まる (2) ルーブリック評価の必然性 (質疑応答)</p>
14:00 ～ 15:20	<p>□ 高大接続ツールとしてのe-ポートフォリオの開発と活用 ～ 文科省の大学入学選抜改革推進委託事業／JAPAN e-Portfolio ～ 関西学院大学 尾木 義久</p> <p>1. 高大接続改革の背景と課題 (1) 子どもたちは、どのような時代を生きるのか (2) 子どもたちは、どのように学ぶのか</p> <p>2. 高校にとっての JAPAN e-Portfolio の意義と役割 (1) 調査書の改訂と JAPAN e-Portfolio の役割 (2) 新たな学び促進ツールとしての運用と活用</p> <p>3. 大学入学選抜としての JAPAN e-Portfolio の活用 ～ 高校生の主体性・学びに向かう力をどう評価するか～ (1) 一般選抜入試 (2) 総合型選抜入試など (3) 現在の利用状況</p> <p>4. 2019年度以降の JAPAN e-Portfolio (質疑応答)</p>
15:30 ～ 16:50	<p>□ 高大接続と大学入試改革の問題点 ～ 新共通テストと大学側の対応～ (国) 東京大学 石井 洋二郎</p> <p>1. 英語民間試験の導入をめぐる経緯 (1) 2017年度までの検討経過 (2) シンポジウム「大学入学選抜における英語試験のあり方をめぐって」(2018・02・10)</p> <p>2. 東京大学の対応 (1) 入学選抜方法検討ワーキング・グループ答申(2018・07・14) (2) 2021年度東京大学一般入試における出願要件の追加について(2018・09・25)</p> <p>3. 国語記述式問題導入の功罪 (1) 国語プレテスト問題の検証 (2) 情報整理能力と思考力 (質疑応答)</p>